

CASBEE-新築(簡易版)2010年版  
学研都市病院病棟増築

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010  
■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.5
Q1 室内環境			0.40					3.2
1 音環境		3.0	0.15	2.6	1.00			2.9
1.1 騒音		-	-	3.0	0.40			
1 室内騒音レベル		-	-	3.0	1.00			
1.2 遮音		3.0	0.67	3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.33	1.0	0.20			
2 温熱環境		3.2	0.35	3.4	1.00			3.2
2.1 室温制御		3.5	0.50	3.8	0.50			
1 室温		3.0	0.50	3.0	0.57			
3 外皮性能		-	-	5.0	0.43			
4 ゾーン別制御性	病室、SS等の空調は室毎のルームエアコンによる個別空調	4.0	0.50	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		3.5	0.25	3.6	1.00			3.5
3.1 屋光利用		4.2	0.43	4.2	0.30			
1 屋光率	屋光率の確保できる窓	5.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口		3.0	0.40	3.0	0.40			
3 屋光利用設備		-	-	4.0	0.30			
3.2 グレア対策		-	-	4.0	1.00			
2 屋光制御		-	-	-	-			
3.3 照度		3.0	0.21	3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.36	3.0	0.25			
4 空気質環境		3.0	0.25	4.5	1.00			3.2
4.1 発生源対策		-	-	5.0	0.63			
1 化学汚染物質		-	-	5.0	1.00			
4.2 換気		3.0	1.00	3.6	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	0.50	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		-	-	-	-			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.5
1 機能性		3.4	0.40	4.8	1.00			3.6
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性		-	-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		3.0	1.00	-	-			
3 バリアフリー計画		3.0	0.30	4.5	0.40			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	4.0	0.50			
1 広さ感・景観		-	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	1.00	5.0	0.50			
3 内装計画		4.5	0.30	-	-			
1.3 維持管理		5.0	0.50	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	汚れにくい仕上げ材を採用	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	維持管理しやすい計画	-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.2	0.31	-	-			3.2
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	タイル、アスファルト防水の上押えコンクリート	5.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性			3.6	0.19			
1	空調・換気設備	空調はGHP、EHPを採用。主要な設備機器は防振吊等を施してい	4.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備	保安用発電機を設置。浸水の危険性がない。	4.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備	LAN等の空配管対応。浸水の危険性がない。	4.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.7	0.29	3.5	1.00	3.6
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	4.0	0.50	
1	階高のゆとり	4,000と3,800	5.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	耐力壁を極力減らし自由度を確保	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.6	0.38			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性	計画的にPSを配置	4.0	0.17			
3	電気配線の更新性	計画的にEPSを配置、ケーブルラックを敷設	5.0	0.11			
4	通信配線の更新性	計画的にEPSを配置、ケーブルラックを敷設	5.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.8
1 生物環境の保全と創出		緑地を30%以上確保	4.0	0.30			4.0
2 まちなみ・景観への配慮		建物は既存建物を踏襲し調和	4.0	0.40			4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30			3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上	空調室外機等の設備機器は屋上設備置場に集約設置	4.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1 建物の熱負荷抑制		入力値による。	4.4	0.30			4.4
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20			3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		入力値による。	5.0	0.30			5.0
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		ERR=35.7%	5.0				
集合住宅の評価							
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.9
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1	節水	節水型衛生器具を採用	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.63			3.8
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	陶磁器タイル(外部床)、岩綿吸音板(天井)、衛生陶器	5.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	GL工法、軽鉄間仕切	5.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.22			4.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	タイルメント、エコロイヤルセメント、アミノール、ダストブルーFOA	5.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)	エアロンFR-NF	5.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		入力値による。	4.1	0.33			4.1
2 地域環境への配慮			3.2	0.33			3.2
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減	京都府の指導基準を超過して透水性舗装を設置している。	4.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	車社会に重点を置いた計画としている。	5.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミの削減に取り組んでいる。	4.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.4	0.33			3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	0.33			
2	振動		3.0	0.33			
3	悪臭		3.0	0.33			
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.3	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制			-			
3	日照阻害の抑制	4時間・2.5時間でも規制を満たしている。	4.0	0.30			
3.3 光害の抑制			4.4	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周辺環境に配慮した照明計画となっている。	5.0	0.70			
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			